

## 米国キャメロン LNG 輸送用の新造船舶の共同保有について ～当社初の LNG 船保有により輸送コストを低減～

当社は、三菱商事株式会社（以下「三菱商事」）、日本郵船株式会社（以下「日本郵船」）、東邦エルエヌジー船舶株式会社（以下「東邦エルエヌジー船舶」<sup>※1</sup>）との合弁会社 Diamond LNG Shipping 3 Pte. Ltd.（以下「DLS3社」）を通じて、米国キャメロン LNG プロジェクト向けの LNG 船1隻（以下「本船」）を共同保有いたします。

2015年12月に、米国キャメロン LNG 売主（Diamond Gas International Pte. Ltd.、以下「DGI 社」<sup>※2</sup>）の親会社である三菱商事は、当該 LNG 輸送のため、株式会社 MI LNG カンパニー<sup>※3</sup>と船舶建造契約を締結し、あわせて、DGI 社と定期傭船<sup>※4</sup>契約基本合意書を締結しました。その後、当社、日本郵船、東邦エルエヌジー船舶との本船の共同保有を前提に、本年5月に、三菱商事が船舶保有会社の DLS3社を設立しました。

今般、本船の共同保有者となる4社が関係当局からの事業認可を取得し、当社、日本郵船、東邦エルエヌジー船舶が DLS3社へ出資参画したことを受け、船舶建造契約および定期傭船契約基本合意書が三菱商事から DLS3社へ譲渡されました。

当社は、2022年から約16年間にわたり、DGI 社から、年間約30万トンの米国キャメロン LNG を購入する基本合意書を締結しております。

本船は2019年（予定）の竣工後、当社および東邦ガス株式会社向け米国キャメロン LNG の輸送に従事する予定です。

DLS3社への出資によって、当社は初めて LNG 船を共同保有することとなり、これにより、LNG の輸送コスト低減や輸送体制の強化を図ってまいります。

当社は、本取り組み等を通じて、引き続き、LNG 調達における経済性・安定性の確保を図るとともに、将来の LNG 市場動向の変化等に応じた柔軟な調達に努めてまいります。

### < LNG 船保有会社の概要 >

社 名	Diamond LNG Shipping 3 Pte. Ltd.	
設 立 国	シンガポール	
事 業 目 的	LNG 船の保有ならびに LNG 輸送事業	
共同保有比率	三菱商事：40% 東邦エルエヌジー船舶：10%	日本郵船：40% 当 社：10%

- ※1 東邦ガス株式会社100%出資のLNG船保有会社。
- ※2 シンガポールに本社を置く、三菱商事100%出資の子会社。
- ※3 2013年4月に設立された、三菱重工業株式会社51%、今治造船株式会社49%出資のLNG船設計・販売会社。
- ※4 船員を含め、船を一定期間チャーターすること

(別紙) 新造LNG船の船舶建造契約および定期傭船契約基本合意書の概要